

確実な契約

序論

▶レムナントの皆さんが第一にやらなければならないことは何でしょうか。特に日本レムナントが一番一番先にやらなければならないことは何でしょうか。7人のレムナントが一番先にやったことがあります。7人のレムナントが一番先にやったことは、確実な契約を持っていたということです。そこでレムナントの皆さんは、今回、祈りを始めなければなりません。一生の間、握るべき契約は何か。それさえ祈るなら、神はすべてのことを与えてくださいます。レムナント7人は大人の方々が知らないいくつかのことを知っていました。まずその部分について序論から見ていただきたいと思います。

▶全世界は日増しに難しくなっています。また、大国だと言われている国々も、霊的問題はますます増加しています。この部分について大人の方々はわかっていません。不思議なことに、全世界の政治指導者たちが分からずにいます。だから、続けて災いが来るのです。それを止めなくてはなりません。到底、イスラエルの指導者たちが知らなかったことをレムナント7人が知っていました。アメリカのような国でも、あまりにも霊的問題が多いです。ところが、自分たちで解決することができないので、ただ知らんぷりをしているのです。それで精神疾患、麻薬の患者さんがとても多いです。今後、私の予測ですが、麻薬をしている人を捕えること、刑務所に入れるということはなくなる時代が来ると思います。なぜなら、ほとんどすべての人がやっているからです。そのような時代が必ず来ると、私は見えています。そして、精神病は治すこともできず、非常に増えています。

1) 絶対不可能←契約→絶対可能

▶そこでレムナントの皆さんは、絶対不可能なことを皆さんは絶対可能のように見ていかなければなりません。絶対不可能と絶対可能の間を見抜いて行くこと、それを契約と言います。お分りでしょうか。レムナントはまったく恐れず、絶対不可能なところに挑戦すべきです。握ることは契約、それだけを握ってやってください。レムナントの皆さんは何かを体験する必要はありません。契約だけを握れば結構です。レムナントは熱心にする必要もありません。ただ契約を握ることだけでよいのです。どんな契約を握ればよいのでしょうか。それは本論にいったときにお話します。皆さんが契約だけを握れば絶対可能になります。これがレムナント7人の特徴であったということです。皆さんはレムナントです。だから、レムナントの答えを得るためには、レムナントが何をしたかをよく見ていかなければなりません。

2) 一生の契約（整理）

▶このレムナント7人の特徴があります。一生の契約が整理されていたということです。用いられるしかありません。レムナントは体験を優先することよりも体験せずに、ただ神のみことばを一生の契約として整理すべきです。すると、そこに神の御働きがともないます。なぜなら、神様は絶対不可能なそこを生かすようになるからです。

▶日本は重要な国です。先ほども、チョン・ウンジュ先生とこの大会場に來ながら、日本は本当に学ぶべき部分がたくさんあるという会話をしました。日本に來るたびに、私の中には希望が生まれます。日本にいらっしゃる宣教師の方々、日本人の牧師先生方、そして、日本のレムナントが、世界を変えていくその日は來ると思います。だれも確信がないのでしょうか。だれもアーメンと言いませんでした。それでも大丈夫です。契約だけ持っていれば、神様がなさいます。神様はヨセフを用いていくしかありませんでした。ヨセフは兄たちと違います。なぜなら契約が整理されていたからです。どの程度かといいますと、世界福音化という絵が夢で見るほどに整理されていました。神様がどうしてモーセを用いたのか。母親から聞いた契約が整理されていたからです。それだけで十分です。勉強は、二の次のことです。多くの親たちや教師が、勉強がいちばんだと言うが、それは二の次のことです。契約が整理されていなければ勉強も意味がなくなってしまいます。今日からレムナントは何の心配もせずに、ダビデが備えたその契約を準備していくべきです。エリシャが備えたその契約を準備していかなければなりません。初代教会とパウロと多くの弟子たちが備えた契約を準備すべきです。

3) 起きること

▶とても重要なのがこの(3)です。答え、それは重要ではありません。なぜなら、多くの人々が受けようとする答え、それは実際には間違っただけです。世界教会が祈っている祈りの課題なども私が見るには間違っただけです。未信者のようにただ単に祝福を与えてください。とにかく成功させてほしいと。とにかく病気を治してください。それは間違っています。何からやるべきかと言いますと、神の契約を握ったときに起きることについて知らなければなりません。答えが來る結果が重要なわけではなく、契

約を握ったときに生じるその中身を知らなければなりません。多くのことがあります、特に大きく 3 つほど整理することができます。

(1) 力、のろい、国

▶三位一体の神の力が契約を握るとき起きます。キリストの奥義によって3つののろいがこの時、打ち砕かれるようになります。災い、サタン、地獄の背景です。この3つの解決の内容を指してキリストと言います。そして、とても重要なことです。神の国が聖霊の働きによって臨まれます。いまです。答えはいつ来るのでしょうか。そう求めているから失敗してしまうのです。どうしたら答えられるのだろうか。その考えが失敗のもとです。時々、レムナントは、「私には祈りの答えがありません」と言います。「私は神様のみことばがよく分かりません」。「私は教会に行ってもどのように礼拝をささげたらいい分かりません」。そのようによく話します。まったく関係のない話です。なぜなら、神様は正確な時刻表に沿って答えてくださるからです。大人の方々が、よく理解していただきたいと思います。皆さんが理解できず、この貴重な子どもたちに間違ったことを伝えてしまうからです。重職者の方々、牧師先生方はよく理解し、正しいことを伝えなければなりません。ヨセフが契約を握ったこと自体が答えです。奴隷になりました。でも、それが答えなのです。監獄に入りました。それが答えです。総理になりました。それが答えです。そうです。私も昔、どうして祈りに答えられないのだろうと思いました。正直、私は礼拝をささげながら、このなぜ礼拝をささげるのかと思っていました。そうすると、このメッセージはなぜするのでしょうか。私は昔、よく分かりませんでした。ある日分かったのです。

(2) 御座 – 御使い (天使)

▶2つ目の理由です。皆さんが契約を握るとき、主は御座の門を開き、最もすみやかに天の御使いを遣わし、驚くべきことを成し遂げられます。答えが来ていないわけではなく、神様は間違ったことには一切答えられないということです。「私はなぜ答えが早く来ないのだろう」ではなく、間違っているから答えられないのです。正確に答えられる神です。私が体験したことです。私は祈りの答えがないと思っていました。神のみことば自体が生きているということについての体験がなかったのです。ある日分かりました。とてつもなく大きなことが起きるようになったのです。

(3) サタンの権威

▶契約を握るときに、サタンが縛られ、神の驚くべき力と神の子どもとなった権威が私に与えられたことが分かるようになります。レムナントの皆さん、おわかりでしょうか。契約を握ってください。
▶今から一生の自分の契約を整理するために、このような集いが設けられているのです。この中に神のみことばをよく整理されるレムナントがいらっしゃるなら、モーセのようになるはずですが。この中で神様のみことばをよく整理して作品を作るなら、ダビデのようになるはずですが。この中で契約のみことばをよく整理するならば、パウロのようになります。ものすごい祝福です。みことばが成就されるその時刻表は想像を絶することになっていきます。パロ王は分かりませんでした。ローマも分かりませんでした。パリサイ人たちが分かりませんでした。中世教会が分かりませんでした。いまの牧師先生方がどれほど貴重な方なんでしょうか。教権の勢力の中にいる方々は分かりません。

本論

▶本論 – 今日の内容は、少し難しく感じられるかもしれませんが。しかし、聖書の中で最も難しい部分をレムナント7人がよく理解していました。むしろ神学者たちがよく理解できなかったのです。皆さんは理解できると思います。簡単に契約を握ってください。私たちもレムナント7人のように契約のみことばを整理して持っていましょう。日本は世界を生かさなければなりませんから、契約のみことばを整理した皆さんを通して主が用いてくださいます。それでは、どんなみことばなのでしょう。聖書をたくさん読んで聖書の勉強をたくさんしても意味がありません。

1. 福音 (いのち) みことば

▶神様はいのちです。福音はいのちです。いのちのみことばを神が私たちに与えてくださいます。この内容をいくつか整理するだけで十分です。まず一番先に知っていただきたいことがあります。

1) エペソ 1 : 3-4、ローマ 16 : 25、サタン – 墮落、善悪 – 契約

▶エペソ 1 : 3-4 です。この世の基が置かれる前と記録されています。ローマ 16 : 25 もよく理解しなければなりません。世々に渡る前から隠されていた福音です。これがどういうことであるかお分かりでしょうか。神はサタンをなぜ造られたのでしょうか。そのように誰かが質問してきました。レムナントがよく質問します。神がサタンに勝てない方なんでしょうか。神が善と悪を知る木の実を造らなければよかつたのにと言います。どうしてそれを造って食べるようにしてしまったのか。神は全能な方なので

うしてこれを造ってここまでしてしまったのでしょと質問します。実は、これはとても重要な話なのです。レムナントの多くはよく聞きます。どうして神が善と悪を知る木の実を造ったのでしょかと。エデンの園を造られたことは理解できるのですが、善悪を知る木の実をなぜ造ったのでしょ。神はサタンの誘惑を止められなかったのでしょか。これはレムナントがたくさん聞く質問なのです。突然、このような質問をされると牧師たちもとまどってよく答えることができません。造らなければよかつたはずなのにどうしてか。まず、これに対する答えからお話しします。善悪を知る木の実、これは、神が人間に与えられた契約です。取って食べてはならないと言われました。ここには、ものすごい契約が含まれています。神が人間を守るための方法だったので。その後にもことばを与えましたが、まずはこの契約から与えられました。

▶レムナントにとって難しい話かもしれませんが、レムナントが一番多く質問する内容です。先週も、誰かが尋ねてきました。どうして神様は善悪を知る木の実を造ったのでしょか。それで私は答えを送りました。日本レムナント大会に行ったときに説明しますとお答えしました。そして、日本のレムナント大会のメッセージを聞きなさいと言いました。神のいちばん大きな目的は何でしょか。人間をこき使うために造られたのではなく、人間とともにいて愛するためです。そのために人格を与えられました。簡単に言えば、人間には自由意志が与えられています。これはタオルでここに置きました。このタオルは自由意志がありません。今度は左側の方に置いてみます。自由意志がないのでただじっとしているだけです。でも、人間はこのようには造っていません。タオルはこのように捨ててしまえば、そこに黙っています。人間をこのように造ったわけではありません。人間には、自由意志を与え、その人格で神を信じられるように造られたのです。御使いに対しても神を賛美できるように、その意志が与えられています。御使いにも人格的自由意志が与えられているのです。でも、それが墮落してしまいました。人間に自由意志を与えたが、サタンのことばを聞いてしまつて契約を破つてしまいました。それでも神は人間を愛し、その人間を救われる、ともにいると言われたのです。実は、このようなことが起きるということを予測したうえに、創造の前から、世々に渡る前から福音を準備されたのです。神は世々に渡る前から人間とともにいるための祝福を備えておきました。この福音は、すべての聖書の核心部分です。この福音は、世々に渡る前から隠されていたことがいまや現されたと記しています。

2) 創世記 3 : 15、出 3 : 18、イザヤ 7 : 14、マタイ 16 : 16

▶聖書をご覧ください。創世記 3 : 15 の内容を理解したヨセフを主は用いたのです。この言葉を聞いて出 3 : 18 を理解したモーセを、神は用いていきました。神は聖書を私たちに与えられましたが、これは歴史の書物ではありません。救いのために記された本です。そのため、いま言った本論の内容を逃してしまうと、聖書 66 巻全部を逃してしまうこととなります。そして、イザヤ 7 : 14 の契約を握つた人を通して出バビロンを行なつたのです。マタイ 16 : 16、あなたは生ける神の御子キリストを理解したものを通して出ローマを行いました。

3) ローマ 1 : 16-17

▶そこでローマ 1 : 16、私は福音を恥とは思わない。この福音は、救いを得るための力となると言われています。ただ義人は信仰によって生きると言われています。これらによって世界の変化が起きました。未信者が聞けば全く理解できない話でしょ。でも、聖書を見て、また柳先生のメッセージを聞くといつも同じような言葉に聞こえると思えるかもしれません。このような方がたまにいらっしやいます。死んでしまつている木に水というのは毎日同じような水になってしまいます。生きている木に水を与えれば、それはいのちになっていくのです。生きている人に食事というのは、いつも同じ食事ではありません。死んだ者には、食事はいらぬものではありませんか。でも、生きている人には、食事というのは毎日、新しい食事になります。

▶いのちのみことばの中で、この契約を持つてすべての世界を生かすこととなります。いまから日本のレムナントは、福音を中心にして、一生の契約を整理していくべきです。他の言葉を一切聞く必要がありません。ある日、神様は皆さんを重要な場所において用いていくはずで。

2. 問題 (いやし・サミット)

▶二番目です。レムナントの皆さんは記憶してください。すべての問題は、いやしとサミットへの道です。この言葉を固く握つていかなければなりません。お分りでしょか。

1) 家庭問題

▶ほとんどのレムナントは、家庭の事情によっていろいろと傷ついています。家庭問題の中でサミットになつたのがレムナントヨセフです。そうですよね。

2) 奴隷

▶国家の問題にあって奴隷になってしまった者がいます。その奴隷の時に、この契約が現されたのですが、このとき出エジプトという働きをなしてサミットになった者がモーセです。レムナントの皆さんは揺れてはいけません。

3) 教会問題

▶教会の問題の中でサミットになったのはサムエルです。

4) 社会問題

▶世の問題、社会問題の中でサミットになった者がダビデです。お分りでしょうか。絶対他のことを聞いてはいけません。レムナントはみことばだけ正しく握っていれば、すべては主がなさるということです。その人物が、日本に出てくる時、日本の福音化がなされます。日本の福音化が起これば、世界福音化になっていきます。

5) 偶像問題

▶日本のように、偶像問題によってその問題の中でサミットになったのがエリヤとエリシャです。

6) 捕虜

▶捕虜になってしまいました。このためにサミットになったのが出バビロンの御働きをなさいました。

7) 属国

▶属国になりました。この属国の中でサミットになった者たちが、初代教会の人々です。これらは整理してもっていくべきです。

3. 神が備えられたこと

▶では、もうひとつを整理してください。本論の 1. はいのちの福音の内容で、2. は皆さんに起きる問題の内容です。ならば 3. のことを覚えていてください。神様が備えられたことです。別にあります。皆さんには、神様が備えられたことが別にあります。

1) 総理

▶ある日、ヨセフが総理になりました。神様が備えた祝福は、総理ではありません。福音を持った総理です。これが目標です。総理はたくさんいます。大統領もたくさんいらっしゃいます。神様が本当に用いる総理は、福音を持った総理です。

2) 指導者

▶ある日、神様はモーセを出エジプトさせる驚くべき指導者として用いていきました。神の目標は、指導者ではありません。福音を持った指導者です。いま言ったこのすべての内容は必ず来ますから、それを待つことです。そこで、私は、レムナントの皆さんは勉強ができる、できない、どちらでも構いません。

▶ある誰かが私に手紙を送ってきました。「牧師先生が、勉強ができなくてもいいと言うから、うちの子が勉強しません」ということでした。また、ある親は、このような手紙を私に送ってきました。「牧師先生がいつもレムナント、レムナントと言うから、レムナントが高慢になってしまって大人の言うことを聞きません」と。また、外国にいる韓国の方なのですが、メールをいただきました。「うちの子はメッセージをまったく聞きません」。そして、どうして聞かないかの理由が書かれていました。それによると、「この世界にはあまりにもすばらしいレムナントがたくさんいるから、私はわざわざそうならなくてもいいということでは聞かない」ということでした。このようにさまざまなレムナントの方々がいらっしゃいます。それで親の方々が質問した内容について答えを送りました。1行送りました。「大丈夫ですから待ってください」と送りました。その親の方々がよく知らない部分があります。レムナントには失敗なんてありません。一時は失敗のように見えるが、それは失敗ではありません。聖書がそのようになっています。神様は必ずレムナントを用いていきます。レムナントに霊的な問題が来ている。大丈夫です。神に向かう道になるからです。どんな環境でも大丈夫です。

3) 大祭司

▶ある日、神様はサムエルを呼んで、最高の大祭司長になりました。

4) ダビデ (王)

▶ある日、神様はダビデを呼んで、王として立てられました。必ずこの日が来ます。なぜなら、神様が備えておられるからです。神様はレムナントの未来を必ず備えておられました。だから、待ってください。神様は、皆さんの未来を備えておられます。どんなに難しい、大変だと見えても、主がすべて備えておきました。その中で証人一人を立てるなら私自身です。主が備えたということ。福音を持っているものをです。王になることが目的ではなく、福音を持った王になることです。

5) アラム勝利者

▶神はある日、エリヤ、エリシャを通してアラムの国に打ち勝って勝利者になりました。

6) バビロンの証人

▶ある日、レムナントを呼ばれてバビロンの人材として用いてくださいました。

7) ローマ征服

▶ある日、神様はレムナントを通してローマを征服しました。重要です。レムナントの皆さん、絶対に逃してはいけません。レムナントの皆さんは揺れなければ、それさえしなければ勝利します。もう一度お話しします。これは両親にお話しします。レムナントは揺れても勝利します。神はこのような3.の内容の人を探しているのではなく、福音を持ったこのような方々を探しています。大学教授、たくさんいらっしゃいます。神様はそのような教授を必ずしも必要とはされていません。福音を持った大学教授です。神が必要とされています。レムナントの皆さんは、この契約を握ってください。今日から皆さんは何の心配もせずに一生の契約を整理することです。一生の契約を準備していくことですか。お分りでしょうか。

結論 - 3つ今日の整理

▶皆さんが一生の契約、3つの今日を整理してください。これをやらせていくときに、知らなければならぬことがあります。

1) 今 - 準備

▶皆さんがこの契約を握っているときに、今、何が起きるか。今です。神様は、今答えが来るより重要なことを準備されています。

2) 未来 - 後で (時刻表)

▶神様は、皆さんがこの契約を握ったとき、未来、後々どうするかということをお知らせします。こういう部分がとても重要な部分です。すべての人が、想像することもできなかった時刻表が開かれています。この運動は、宣教師の方々を始め、500人の牧師先生によって始まりました。今では一千人の牧師先生方がこの働きをされています。後に分かると思います。その先生方が素晴らしいとか偉大だということの前に、神様がそうされたと言う偉大なる時刻表が分かるようになります。

▶これらは歴史に残ると思います。聖書がそうになっています。レムナントのすべての活動は、歴史の前に資料として残ります。レムナントの皆さんは心配せず、契約だけを握ってください。お分りでしょうか。牧師先生方にもお願いします。レムナントたちに契約を正しく整理させてください。そうすると、神の働きについて私たちが探しに行くのではなく、その神の働きが私たちに伴われるようになります。どのように従って行けばよいのでしょうか。その契約を握ってレムナントがどこにいるかによって、主がその契約をすべてそのレムナントとともに働きます。

▶私は、日本人の方々を拝見させていただきますと、いろいろなことを考えるようになります。特に、はじめ伝道師、佐土原先生を見ると、本当に韓国語が上手ですばらしいなと思っています。もちろん日本人ですから日本語はもちろんのことなのですが、私が見る限りは、はじめ伝道師、佐土原牧師先生は、韓国人より韓国語が上手だと思います。それはいったいどういうことかということ、韓国人よりメッセージの理解が早いのです。だからこそ、私は、本当に日本は希望があると思います。このような弟子たちがいまたくさん続けて起こされています。本人は気づいていないかもしれませんが。本人は、私はたいしたことありませんと思うかもしれませんが。神は大いなることを大いなるものとして用いてくださるはずですか。これから、宣教師の皆さんのその苦労は無駄な苦労ではないと確信します。また、感謝なことは、重職者がレムナントを育てるために奨学金制度もやっています。絶対に小さなことではありません。ある日、どんな人物が起こるか分かりません。

▶今回、レムナントの皆さん、いまから始めてください。一生の契約を整理しようということ。その後々に、どんなことが起きるか見てみてください。それ以降、神様はモーセに御働きをなさいました。それ以降、ダビデに主が働きました。それ以降、神はパウロに働かれたのです。正直、私は福音に関する聖句、その次に伝道に関する聖句をいくつか整理しました。私個人的には、私自身が信じられないくらい、神の恵みが注がれました。そのおかげで40年、走り続けています。その40年の間、私は疲れたりばてることも一切ありませんでした。40年間、本当に多くの全世界を歩き回るようになったのです。もっと重要なのは、500人以上の牧師先生の足跡を、神様は貴重に用いてくださるということです。さらに重要なことは、レムナントの皆さんです。このレムナントの方々を主が用いてくださるはずですか。レムナント大会があるたびに、メッセージを聞かずに動き回るレムナントもいます。ぱっと見ても分かります。いつも集会場にはいません。毎年、その子がそうしていたので目立って覚えています。そうした中、ある日、ドアの前で待っていました。私が出てくるとサインをお願いしますと言われました。

その子がなぜ私の記憶に残るかと言いますと、いつもぶらついているのを見ていたからです。だから、私はすぐ気づきました。おそらく母親にサインをもらってきなさいと言われたのではないかなと思いました。たぶんレムナント集会に行かないから、それを機に聞かせるつもりだと思いました。ある日、そのレムナントが一番前の席に座って恵みを受けていました。レムナントには時刻表があります。それで、今回の 3 つの講義をよく記憶していただきたいと思います。答えは何だろう、それを考えることなく、契約をしっかりと整理することです。想像を絶するその時刻表に、主が御働きをなさいます。お祈りします。

(祈り)

神様、感謝します。日本のレムナントの最高の時間になりますように。日本を生かすレムナントが起こされますように。日本は重要な国なので、世界福音化をする国となりますように。偶像に陥った者たちをいやしていく伝道者が起こりますように。今後、レムナントを通して新しい時代が開かれると信じます。神がなさるその日を私たちは見つめています。すべてのレムナントたちを祝福してください。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。